トレッサ横浜にて広報活動

説明会コーナー

ガチャガチャが大人気

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長　田中３陸佐）は、７月２８日（金）から３０日（日）までの間、大型ショッピングモール「トレッサ横浜」（横浜市港北区）において自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

広報ブースでは、採用説明会コーナー・職種説明パネル・災害派遣パネル・戦闘機の操縦桿の展示・自衛隊グッズのガチャガチャを設置し、地域住民との交流を図った。また土日のイベントには神奈川地方協力本部のキャラクター『はまにゃん』も登場しブースを沸かせた。

説明コーナーでは、「息子に受験を勧めたい」という保護者の方や、「自衛隊にこんなにも多くの採用コースがあることを初めて知りました」と興味津々な様子の社会人の方などが、各コースの説明を熱心に聞いていた。また、災害派遣等の写真パネルを見た方から「いつも守ってくれてありがとうございます」などの感想を伺うことができた。小さな子供たちには、はまにゃんやガチャガチャが大人気で、はまにゃんと一緒に写真を撮ったり、ガチャガチャから出てきた自衛隊グッズに大喜びだった。

横浜出張所は、今年の9月2日（土）と3日（日）にトレッサ横浜で行われる防災フェアにおいても、広報ブースの設置を予定しており、「今後も地域に密着したイベントに積極的に参加し、自衛隊の活動に対する理解の促進を図っていきたい」としている。

救急救命士を目指す学生が第一線救護衛生員の緊急救命行為を体験

第一線救護衛生員って知っていますか。准看護師と救急救命士の国家資格を取得し、認定試験に合格した自衛隊の衛生員は、第一線救護衛生員として、有事の際など特定の状況下において、医師に代わって緊急救命行為を行うことが認められています。

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長　荒木３陸佐）は、自衛隊横須賀病院教育部（横須賀市）が、今年度、初めての試みとして実施した第一線救護衛生員を目指す学生と湘南医療福祉専門学校救急救命科の生徒との合同実習を支援しました。専門学校からは、７月４日には２年生の生徒２４名、８月１日には３年生の生徒２３名が参加しました。

生徒たちは、第一線救護衛生員に関する概要説明を受けた後、３グループに分かれ、実習室で①止血帯を用いた止血、②輪状甲状靭帯切開、③胸腔穿刺・骨髄穿刺などの第一線救護衛生員の手技の実習を教育部の学生と共同で実習しました。

実習には、出血や呼吸による胸の微妙な動きや痛みに耐える叫び声までリアルに再現できる訓練用の人形が使われ、輪状甲状靭帯切開では「気道を確保し口腔内を確認！気道熱傷の可能性あり！外科的気道確保、輪状甲状靭帯切開を行う」と手順を口にしながら、医官の指導の下、実際にメスや気管チューブを使用して実戦さながらに処置を行いました。

実習終了後、湘南医療福祉専門学校の先生は、「大変良い経験ができたと生徒も言っています。来年以降も是非継続したい」と語っていました。